

～今、市民の森では！～



作成:NPO 法人 ハヶ岳森林文化の会 森林観察学習部会  
(Tel: 0266-75-1772 Mail: shinrin\_bunka@yahoo.co.jp)  
掲示許可:茅野市 環境課 環境保全係

そのメンバーから市民の森を散策される皆さんへ、メッセージをお届けします。市民の森の現在の様子(咲いている花、飛んでいる蝶など)をお伝えしますので、ご参考に、気持ちの良い散策をお楽しみください。月例観察会は、1回参加も受け付けております。

お問い合わせは 75-1772.

記号の説明:

- ①xx:ガイドブック「市民の森に集う」xxページ参照
- ②xx:ガイドブック2「森を楽しむ」xxページ参照

**茅野市 市民の森ガイドブック「市民の森に集う」**  
(新書版144ページ)は茅野市役所 環境課 環境保全係で無料配布しております。是非、散策のお供に！

昆虫もたくさん載っています

**茅野市 市民の森ガイドブック2「森を楽しむ」**は、2017年3月に発行し、只今、300円で販売中。  
《取扱所》 茅野市尖石縄文考古館 売店  
茅野市北山 カフェ 午後の森  
《問合せ》 NPO 法人 ハヶ岳森林文化の会  
☎: 0266- 75-1772

**ドシャ降りの中、家を出発** (悦)

朝、雨が降っていましたが、予報は9時には止んで晴れるというので、フィールド観察に決定しました。しかし、家を出発するときにはドシャ降り、後悔しながら市民の森を目指しましたが、開始の9時にはピタリと止みました。途中から青空も見え、青空に映える紅葉・黄葉を楽しめました。

例年11月の月例観察会は寒さ対策が必要ですが、今日は寒いどころか、日向は暑いくらいでした。

コースは、日暮れが早いということで14時終了を目指し、第一駐車場→野鳥の小径→池→南コース→第一駐車場にしました。

樹種による紅葉・黄葉の色の違い、樹木1本1本、葉1枚1枚異なることを観察できました。

今回は久しぶりに2か所でオオムラサキの幼虫を複数観察でき、来年の成虫観察の期待を持ちました。



**秋の風景**

コナラの葉、  
タンポポの種で  
風景画

(矢)さん作

GB②62 より

**新名所になるか?** (悦)

南コースの笹藪から二ヨッキリ。何に見えますか？  
竜だ！ キンだ！ 鹿だ！  
名前は、観る人に任せるとして、来年まで倒れず残っていたら、新名所の登録を検討しましょう。



**秋の香** (悦)



カツラの落葉はカラメル香り ネズミサシの実はノープな香り



**みんなちがって、みんないい** (桂)

観察会に参加して6年目の秋、皆さんと森のお陰で何も知らなかった私にも森への知識が養われたと感謝しています。と言っても出席率が半分なので、半日陰の木のような成長かもしれませんが…。そして、じっくり見ることで『見えぬけれどもあるんだよ、見えぬものでもあるんだよ。』を感じる事が出来ました。

今回は、まさに紅葉狩りでした。綺麗な葉っぱがアチコチに目につき、つい拾って来てしまいました。見上げた樹木の写真、様々は色かたちの葉っぱを並べた写真、この2枚を見ると、まさに『みんなちがって、みんないい。』です。



**個性色々** (洋)

- 各々の紅葉・黄葉  
多くが落葉し始めているこの時季、メグスリの木々の紅葉は目を引いた。ダンコウバイの黄葉、カマツカのオレンジ色も美しく癒された。
- 個性的な実  
コブシの果実は優雅な花からは想像つかない姿。また何のためか、糸のようなものでぶらさがることを再確認。  
ネズミサシの果実のかぐわしい香りを確認できた。別名は和白糖とのこと。
- オオムラサキの幼虫  
エゾエノキの根元で茶色になった幼虫をいくつも観察できた。ここで越冬するのね。来年の夏、出会えるのを楽しみにしてるよ！

**大雨の後のカラフルな秋** (新)



今回の市民の森観察会は大雨が上がった直後の青空ととても素晴らしい色色でした

イチオシの色は紫式部の実の色はでとても気品に満ちていました



ネズミサシはつまむのも一苦労ですがすぐに皮膚に刺さってしまいましたがとても爽やかな香りで鋭利な刃先とのアンバランスが面白いと思いました



地衣類の緑も鮮やか

**11月観察したムシ達** (馬)

- ミドリジミの卵  
(10月はハンノキ枝上で観察、今月はヤマハンノキ枝上で観察)
- ルリタテハ②112 (越冬前)
- アキアカネの仲間たち  
(里に移動せず池で産卵していた。)
- オオムラサキ越冬幼虫②50  
(エゾエノキ落葉がまだなのでミズキ落葉裏で観察)

**11月観察した花** (悦)

- ミズヒキ①103
- イヌタデ①103
- ノコンギク①110
- ツクバトリカブト①113
- ヤクシソウ①109

**11月観察した果実**

- ツノハシバミ①67
- オニルリソウ①91
- アブラチャン①66
- ダンコウバイ①66
- ウリカエデ①68
- ウリハダカエデ①68
- カラコギカエデ①132
- ネズ②98
- ガマズミ①83
- コバノガマズミ①76
- オトコヨウゾメ①76



- ウツギ①88
- サワフタギ①74
- アオハダ①129
- クサギ①100
- エゴノキ①84
- カマツカ①135



- ツルウメモドキ①139



今年最後の市民の森観察会 (矢)

心配された雨も上がり、紅葉の美しい気持ち良い森の中で、あれ？みんな下向いて何かを探しています。

そう、市民の森で初観察になるであろう「フモトミズナラ」のドングリ探しです。



先般、環境保全研究所の尾関氏が確認のため来訪し、資料を採取していかれました。本来もう少し暖かい地方に生息している「フモトミズナラ」が最近長野県の何カ所かでも確認されているとか。長年関わっている森でも、毎年新しい発見があるものですねー！

<どんぐりの帽子比べ>



ナラガシワ(せせらぎコース奥) フモトミズナラ?(第一駐車場下)

「フモトミズナラ？」のドングリ探し (悦)

下見で野鳥の小径の終盤の道脇に、コナラとは違った木を発見。「フモトミズナラ」騒動中、同定ポイントのドングリを皆で探してもらいました。



未成熟ドングリばかりで、???



紅葉、黄葉に彩られた市民の森での一日 (黒)

●心配された雨もすっかりあがり、気持ちのいい散策ができました。歩くみんなの姿も、のんびり、ゆっくり、ゆく秋を楽しんでいるのがわかります。



●オオムラサキの幼虫をたくさん見つけることができました！ 来年は、飛び交う美しいオオムラサキに出会えるかもしれないと今からワクワクです。蛹も見られたらいいな、と欲張ってしまいます。



●寒さに葉が傷んでいますが、赤いきれいな実を付けたツルノドウ。このまま、熟して種をまいてね、とそっと言ってきました。



●見事な紅葉が多い中、ひととききれいな赤、それも薄いはかなげな赤の紅葉。サンカクヅルでした。



風雨にさらされた市民の森 (SU)

紅葉はどうなっているのか、正直期待はしていませんでした。ところがどうでしょう！！もちろん、沢山の落ち葉があったけれど、まだ葉の役目を果たし終えていないから、とささやくような木々が多かったこと。青空に映える赤や黄色、緑と美しいグラデーションを見せてもらえました。そして、思いがけずオオムラサキの幼虫にも出会えて、来春が楽しみな一日になりました。

鹿のいる森 (悦)

オオバアサガラ、クサギの実が沢山と喜んでいたら、この2種は鹿が食べず、他の幼木が食べられるので、この2種が目立つ森は、鹿のいる森特有の植生だそうです。



だからと言って、どうすれば良いのでしょうか。

季節のバトンが移っていく。 (口)



●メタセコイヤの紅葉から落葉、♀のアキアカネ、マコタテアカネは11月まで生きている 秋から冬へ。



●ハンノキにミドリジジミの卵を4個発見、この木で春にはイモムシ君がいることを期待して目印を付けました。

●ツノハシバミは雄花、雌花の準備を整えて落葉です。



●エゾエノキ根元のミズキの葉裏にオオムラサキ幼虫、頑張って越冬し芽吹く頃この木で再会できますように。

贅沢な色の世界 (直)

いきものそれぞれに注目する観察に加えて、特に今回は、市民の森全体の色彩も楽しめました。グラデーションのような、パッチワークのような、なんと贅沢な色の世界を堪能できました。



トンボさんと昼ごはん (矢)

市民の池で昼食をとっていると赤トンボがやってきました。

あれ？何か口にくわえています。

カメラを近づけると、くわえたものを落として逃げちゃいました。

それは小さな虫でした。

そうか、トンボさんは一緒にお昼ご飯を食べようと来てくれたんだ。

それなのに私はちょっかいを出して

…ごめんなさい！

口に何かをくわえている



トンボさんのお弁当？

あの紅葉は？ (悦)



南コースの崖下のあの紅葉は何だろう？

コナラかなあ？と皆が首をかしげると、(馬)さんがブッシュを掻き分け崖を下りていきました。

「ミツデカエデかなあ」と叫んでいます。

持ち帰った枝を見て、毛深い！



メグスリノキ！

横河口付近の1本に次ぐ、2本目の発見です。

今年で12年目の月例観察会も無事終了しました。ご協力ありがとうございます。何年たっても、新発見があり、エピソードが増える森は楽しめます。また、森で会いましょう！

つづく